

在住外国人への支援策について

1. 岐阜県における外国人の現状

(1) 全県状況

総数・国別内訳

- ・ 平成14年末の総数は、41,545人（前年比+6.6%）と入管制度改正直後の平成2年度に比べ約3倍となっている。
- ・ 増加のほとんどが、**ブラジル、中国、フィリピン、ベトナム、ペルー**である。

	総数	ブラジル	中国	韓・朝	フィリピン	ベトナム	ペルー
平成2年	13,451	1,557	725	9,956	460	67	91
平成7年	22,920	8,167	2,573	8,664	1,221	184	799
平成11年	31,180	11,744	5,810	7,609	2,470	906	817
平成12年	36,595	14,809	6,915	7,488	3,541	1,039	818
平成13年	38,970	14,925	8,627	7,238	3,999	1,045	866
平成14年	41,545	15,138	10,156	7,053	4,718	988	898

（平成15年末のデータは16年7月以降に掲載する予定です。）

在留資格（目的）別内訳

- ・ 国籍別の在留目的別でみると、**ブラジル人の「定住者・日本人の配偶者等」**が最も多く、次いで**中国人の「研修生」・「特定活動」、韓国・朝鮮人の「特別永住者」、**の順となっている。

	総数	ブラジル	韓・朝	中国
定住者	10,174	8,282	42	373
日本人の配偶者等	6,541	4,342	102	465
特別永住者	6,439	1	6,432	6
特定活動	5,051	1	1	4,277
永住者	4,423	2,198	286	594
研修	2,768	-	3	2,432
興行	1,747	7	3	12
その他	4,402	307	184	1,997
合計	41,545	15,138	7,053	10,156

(2) 市町村別状況

- ・ 外国人が1000人以上在住する市郡

	総計	ブラジル	韓・朝	中国	フィリピン	ペルー
岐阜市	8,201	302	1,939	3,218	1,580	63
大垣市	5,332	3,214	537	897	283	140
可児市	4,206	3,230	322	79	431	25
美濃加茂市	3,558	2,544	154	218	463	97
各務原市	2,722	1,478	523	260	133	117
土岐市	1,500	415	431	90	264	140
関市	1,422	767	103	365	90	5
多治見市	1,116	75	741	127	82	2

2 県・（財）岐阜県国際交流センターが行う具体的支援施策

【平成15年度】

（１）国際交流センターの事業充実

言葉の支援策

- ブラジル人相談員派遣事業（大垣、関、美濃加茂、各務原、可児市に計8名派遣）
- ボランティアによるマンツーマン方式の日本語講座の開設
- 日本語教育指導者育成事業の実施
- ホームページ掲載による生活情報の充実
- 公的機関に対する外国語翻訳サービスの拡大
- ボランティア登録制度の活用による通訳ボランティアの積極的紹介

市町村交流協会、民間団体支援

- 水と緑の国際交流基金助成の優先的採択

具体的課題への対応

- 外国籍不就学児童支援事業

（２）国際室の事業

国際交流センターの相談・支援サービスの拡充補助

- ・ ブラジル人相談員派遣事業

情報収集・対応研究

- ・ 外国籍不就学児童支援事業【国際交流センターへ委託】

県関係機関との連絡調整による課題の洗出しと改善要請

「岐阜県在住外国人支援推進会議」の設置（H13.12.25）

組織構成：国機関 名古屋入管、岐阜労働局、社会保険事務所、

県関係機関 23課（室）、市（6）、（財）岐阜県国際交流センター、
（財）産業雇用安定センター

活動内容：分野別（「教育」、「社会保障・医療」、「労働」、「生活・防犯」）
研究会の開催

市町村との情報ネットワークの強化と対応策支援

- ・ 市町村連絡会議の開催

国への制度改正要望

- ・ 「都道府県国際交流推進会議」による国要望

（３）国際室以外の事業

外国籍児童との共生促進交流事業（教育委員会）

日本語教員の加配、外国語相談員の配置（教育委員会）

ブラジル人子弟交流支援事業（教育振興室、大垣市、美濃加茂市、可児市）